

2022年2月15日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

新国際学生宿舎「南山大学ヤンセン国際寮」が間もなく開寮 オープニングセレモニー&プレス内覧会のご案内

教育プログラムを兼ね備えた新しい形の国際学生宿舎「南山大学ヤンセン国際寮」が2022年4月に開寮するのを前に、3月23日（水）にオープニングセレモニーおよびプレス内覧会を実施します。

本宿舎の特徴は「ダイバーシティ&インクルージョン」をテーマに据えて設計された教育プログラムを全入居者に提供することに加え、学生が主体的に宿舎運営にかかわることです。オープニングセレモニーでは、昨年11月からヤンセン国際寮の入居ルールづくりや教育プログラムの企画などに携わってきたレジデントデザイナーとよばれる15名の学生（入居予定者）が、これまでの活動報告や、新宿舎のリーダーとしての抱負を語ります。

つきましては、本イベントについてぜひ取材、報道等で広く一般にご周知いただけましたら幸いです。なお、恐れ入りますが、取材にお越しいただける場合は、事前に南山大学国際センター事務室までご連絡をお願いいたします。

記

<オープニングセレモニー>

日 時：3月23日（水）10：00～10：30

場 所：南山大学ヤンセン国際寮（名古屋市昭和区八雲町138番1（キャンパス北隣））

内 容：新宿舎の概要説明、宿舎運営にかかわる学生あいさつ（予定）

<プレス内覧会>

日 時：3月23日（水）10：30～12：00 プレス内覧会

場 所：南山大学ヤンセン国際寮

※新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合がございます。

※同日午後と3月24日（木）には本学教職員、在学生、入居予定者対象の内覧会を実施予定。

■ヤンセン国際寮について■

別紙またはヤンセン国際寮特設サイトをご覧ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/jir/>



以上

■本件に関するお問い合わせ先

南山大学国際センター事務室 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

Phone 052-832-3123 Email intl-office@nanzan-u.ac.jp



南山大学ヤンセン国際寮について

■ヤンセン国際寮のコンセプト ～国境を越えて活躍できる人材に～

ヤンセン国際寮は、日本人学生と外国人留学生が共に暮らし学びあう国際学生宿舎で、「ダイバーシティ&インクルージョン実践力養成プログラム」と呼ばれる教育プログラムを実施します。

これからの社会においては、多様な価値観を認め合い、活かしあうことがますます求められるようになります。ヤンセン国際寮では、様々な文化や異なる価値観を持つ学生たちが生活を共にし、キャンパスや教育プログラムで得た学びを宿舎で実践することで、国境を越えて活躍するために必要な力を身につけます。

■「ダイバーシティ&インクルージョン実践力養成プログラム」

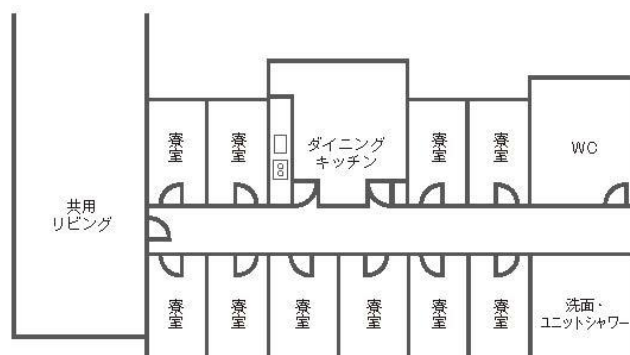
ヤンセン国際寮では、毎日の生活から得られる学び、対話型のスキル養成講座から得られる学び、イベントなどを通じた様々な人々との繋がりからの学びが得られます。学生たちは留学準備や多文化共生体験、宿舎の運営・企画など、自分の興味に合わせて、参加したいアクティビティを選び、宿舎での学びをデザインします。そしてプログラムやキャンパスで得た様々な学びを実際に宿舎での活動に生かしながら4つの力(多文化共生の力、クリティカルシンキングの力、インクルージョン実践の力、変革と創造の力)を身につけます。

■学びを深める生活環境

本宿舎は個室8室~10室で1つのリビンググループを構成し、グループごとに共用のダイニングキッチンを設けるシェアウス方式を採用しています。生活に必要な家具・家電やWi-Fi環境が完備されているため、学生が入居直後から学習に集中できる環境が整っています。また、共用リビングを各階に配置し、学生たちが自由に交流し学びあえる空間を作っています。

また、レジデントリーダー、リビングコーディネーターと呼ばれる学生スタッフを配置し、教員とともに教育プログラムの企画・運営に携わるほか、入居者の生活上のサポートやアドバイス、リビンググループでの入居者間の調整などを行います。

南山大学の協定校には世界トップレベルの大学も含まれ、そのような大学から交換留学で南山大学に来る学生と生活を共にし、学びあえることも大きな特徴のひとつです。



■宿舎名について

宿舎の名前は本学の設立母体である神言修道会の創立者聖アーノルド・ヤンセン (Arnold Janssen) 司祭にちなんでいます。「We live in a time when much is collapsing, and new things must be established in their place. (訳: 我々が生きる時代は、多くのものが崩れ去るような時代である。我々にはその代わりとなるものを作り出す使命がある。)」ヤンセン司祭が遺したこの言葉はまさにヤンセン国際寮の「身の回りや世界規模の様々な課題を発見して新たな解決策を見出していく力を養う」という趣旨にもつながっています。

■施設概要

名 称：南山大学ヤンセン国際寮

所 在 地：名古屋市昭和区八雲町 138 番 1

構 造：地上 4 階建

収容人数：178 名

対 象：日本人学生・外国人留学生

入 居 費：月額 60,000 円 (光熱水費、Wi-Fi 代込)

※別途教育プログラム費 1,000 円/月が必要

